

大雪緑岳（2019m）登山

日 程：平成26年7月26日（土）

参加者：CL西田（芳）、SL一山岸、小山内さん、
西田（昌）、藤木（たか子）、谷、永宮、笹山、及川、
長沼、石山、近藤の各位、リーダー以下12名。

行 程：登山口；8時46分、見晴台（1430m）9時
24分、第一花苑；9時45分、第二花苑；9時54分
緑岳南麓平地（1720m）10時30分、緑岳（2019m）
頂上；11時45分、下山；12時00分、1770m付近
昼食（12時40分～12時55分）、平地；13時10
分、第二花苑；13時41分、第一花苑；13時48分
見晴台；14時05分、登山口；14時30分
登り：3時間14分、下り：2時間30分（含昼食）

27日降雨予想の為、急遽26日に一日で登ることに
決定。早朝4時に幌別に集合、車3台に分乗、途中
二名をピックアップし、登別東から愛山上川まで高速
道を利用、途中適度に休憩を取りながら、片道320
kmの道中をひたすら車を駆ける。PM2.5を含ん
だシベリヤ森林火災の影響で煙霧の為か霞み、太陽も
すりガラス越しに見る様にボンヤリと霞んで見える。

健康被害が出なければ良いが、と心配だ。
層雲峡、大雪湖を経て、大雪高原温泉林道に入り8時
25分頃高原温泉駐車場に到着。登山準備、準備体操
後、二班に分かれ8時46分登山開始、水蒸気を上げ
る噴気孔の横を通り、階段状の登山道をジグを切り、
一列に連なり登る。 泥噴気孔と蒸気



えぞ松、かんば等の林の道を息を喘がせひたすら登る。
雨がパラついて来た、雨具を着るまでも無く止んで来
た、午前中降らない事を祈る。皆さん順調な足取りで標
高を稼ぐ。ひと汗掻いた後、南西方面が明けた個所に
来た。此处は見晴台（1430m）だ。高根が原の台地と
岸壁、その奥に平が岳、微かに忠別岳か？霞んで良く
確認できない。

1520mの明けた台地に上がって来た。木道が敷いて有
りもう直ぐ第一花苑だ。9時42分花苑に到着。



奥に緑岳の姿が見えた。チングルマ、えぞコザクラな
どは満開だが白峰会との交流登山で登った姿見の池
周辺の高山植物の花より開花が遅れている。積雪が多
く雪融けが遅い所為か。



花を愛でながら第二花苑に到着。両サイドは花の絨毯



綺麗どころを2枚載せる



第二花苑を過ぎてもしばらく雪融け後の緩斜面にお
花畑が点在していた。緑岳南麓平地（1771m）に
到着。緑岳を俯瞰、標高差約300mの石礫の急斜面だ。
相変わらずガスッてる 登りに備え一息入れる



気合いを入れ登り始める。先行パーティーだ



中間当たりで一息入れ休憩。

右白雲岳、左奥に後旭岳と旭岳の頭がチョコットのぞく



登りは何時もキツイ

もう少しだと励まし合い、頂上を目指す。

11 時 4 5 分、緑岳（2019m）に登頂。雨が落ちて来た。雨具上衣を着る。

ヤッタネ、記念写真、ハイポーズ、パチリ！良い笑顔で一枚又一枚。



白雲、旭岳方面、少しガスッテ残念。避難小屋だ



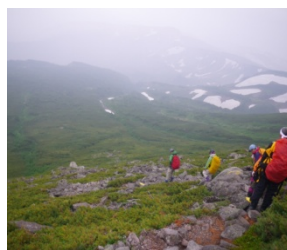
12 時 0 分、早々に下山開始、雨は小ぶり。

1770m 付近の石礫ガレバで昼食を採る。

（12 時 40 分～12 時 55 分）、雨が強くなり昼食を切り上げ、雨具下衣を着用、下山を開始する。

天の神様、もう 1 時間我慢してよ、願いは通じないか。濡れた石は滑るのでそこをクリヤーしたからまあ良しとするか。

皆さん順調な足取りで降りる。岩場は慎重に



第二花苑に 13 時 4 1 分到着、花を愛でる余裕無し。

第一花苑に 13 時 48 分到着、木道が濡れて来た、滑りに注意だ。



道が少しぬかるんで来た、階段状の降りは膝に負担を強いられる。標高差 2 5 0 m の階段を一步・一步足を踏み替えながら慎重・確実に下る。

14 時 30 分登山口に到着。皆さん無事下山御苦労さん。雨が強く、靴、スパッツ、雨具を脱ぐのも大変。見備ろいを終え、層雲峡の黒岳温泉に向け帰途に就く。

登山後の入浴は何よりの御馳走だ。

温泉で疲れを癒し、コンビニで晩ご飯を仕入れ、愛山上川より高速道を利用、砂川 S A に寄り車内で夕食弁当を採る。高速を登別東で下り、途中 2 名と別れ、幌別西口 2 1 時 3 0 分散。

日程変更で早朝の出かけ、登山で有ったが、午前中は雨にも当らず、全員無事登頂出来、初期の目的を達成出来てリーダー始め、仲間に感謝致します。

高速料金の割引は 3 割に成ったが、長距離の日帰り登山が可能になったのは高速道路のお陰です。

追記：長時間の運転をしてくれたドライバーの皆さんに改めて感謝致します。

記：近藤